

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひかり奈井江		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの特性や発達段階に応じた支援を行い、安心して過ごせる環境作りを大切にしている。	・アセスメントに基づき個別支援計画を作成し、発達段階や特性に応じた支援を実施している。また、視覚支援や環境調整を行い、安心して過ごせ環境整備をしています。	・今後は標準化された評価ツールの活用や定期的な見通しを強化し、より客観的根拠に基づいた個別支援計画の充実を図っていきます。
2	・日々の振り返りや記録を通して職員間で情報の共有を行い、統一した支援が出来る体制を整えている。	・支援終了後の振り返りを行い、その日の気づきや環境を共有している。また、記録を活用し職員間で統一した支援が行える体制を整えています。	・情報共有の質を高めるため、定期的なケース会議やICTの活用を進め、より統一性のある支援体制を整備していきます。
3	・連絡帳や面談を通して保護者と連携を密にし、家庭と一貫した支援を心掛けていきます。	・連絡帳や面談を通して保護者と情報の共有を行い、家庭と一貫した支援を心掛けています。また、必要に応じて関係機関とも連携を図っています。	・保護者支援の充実を図るため、助言内容の体系化や勉強会の実施等を検討し、家庭と一貫した支援体制を強化していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域との交流の機会が十分とは言えず、地域社会とのつながりを広げる取り組みが少ない。	・安全面への配慮や人員体制の制約から、地域との交流機会の拡充が十分に図れていない。	・地域交流を年間計画に位置付け、安全面に配慮した小規模な活動から段階的に実施していく。
2			
3			